

気象データ分析の 高度化とビジネス利用

- ◆気象・気候情報のビッグデータを蓄積し活用することを目指す「気象データビジネス」の拡大期！
- ◆激甚化する気象災害や地球温暖化問題を乗り越え、新たな価値を創出しビジネス開発する方策を探る！
- ◆気象ビッグデータのプロフェッショナル集団「気象ビジネスコンソーシアム（WXBC）」の全貌を掲載！

■発行：2022年6月
■定価：本体 38,000 円＋税
■体裁：B5 判 252 頁

■ISBN：
【冊子版】978-4-86043-794-7
【電子版】978-4-86043-795-4
■C3044

電子試読が
できます
（無料）
NTS サイト→



概要目次

序 論	気象データ分析の高度化とビジネス利用
第 1 編	深刻化する気象災害とその予測・評価
第 2 編	気象データ分析の高度化
第 3 編	気象データのビジネス利用
第 4 編	産官学連携による気象ビジネスの展開



監修者 越塚 登 東京大学／気象ビジネス推進コンソーシアム（WXBC）

執筆者（執筆順）

越塚 登 東京大学／
気象ビジネス推進コンソーシアム（WXBC）
加藤 輝之 気象庁気象研究所
呉 修一 富山県立大学
気象庁情報基盤部情報利用推進課
吉野 純 岐阜大学
清野 直子 気象庁気象大学校
澤田 謙 気象庁気象研究所
川端 康弘 気象庁気象研究所
瀬古 弘 気象庁気象研究所
中田 亮太 日本電信電話（株）
関口 美保 東京海洋大学
仲吉 信人 東京理科大学
王 玉冬 嘉創（株）
仙石 健介 高知県庁
古賀新一郎 有人宇宙システム（株）
渡部 靖之 有人宇宙システム（株）

小越 久美 日本気象協会
松本 健人 日本気象協会
須長 智洋 日本気象協会
大江 恵里 全国清涼飲料連合会
榎本 佳靖 日本気象協会
片山 秀史 (株)環境エネルギー総合研究所
大庭みゆき (株)環境エネルギー総合研究所
橘 克憲 (株)パスコ
泉 浩人 (株)ルグラン
中川 達生 (株)ROX
伊藤 寛 三井住友海上火災保険（株）
遠藤 史博 (株)JMDC
富永 伸介 ハイパーアグリ（株）
村上 文洋 気象ビジネス推進コンソーシアム（WXBC）
田原 春美 気象ビジネス推進コンソーシアム（WXBC）

(株)エヌ・ティー・エス行 FAX:047-314-0810／E-mail: eigyo@nts-book.co.jp
冊子版()部／CD版()部 CD版:冊子版と同価格。CD-ROMにPDFを収録

購入申込書

団体名			
所在地	〒		
部署名		TEL	
氏名		E-mail	
通信欄			

申込要領

- 直接小社宛にメール、FAX、またはホームページにてお申し込み下さい。送料は無料です（国内に限ります）。
- お支払い方法
商品到着後、銀行振込、郵便振替にてお支払い下さい。
- お申込み先・お問い合わせ先
(株)エヌ・ティー・エス営業部
◆市川 AI センター
〒272-0023
千葉県市川市南八幡 4-3-3 武蔵屋ビル 4F
TEL:047-314-0801／FAX:047-314-0810
E-mail: eigyo@nts-book.co.jp

株式会社 エヌ・ティー・エス

ここに記入いただいた個人情報は、下記目的のために利用されます。

(1)お客様との契約の履行、管理 (2)新規書籍及びセミナーの紹介等、当社の営業内容の紹介 (3)お客様にとり有用と思われる当社提携先の書籍・サービス等の紹介
尚、弊社における「個人情報のお取り扱いについて」及び「個人情報保護方針」については弊社 HP をご覧ください。

序 論 気象データ分析の高度化と ビジネス利用

＜越塚 登＞

第 1 編 深刻化する気象災害とその予測・評価

第 1 章 変化する気象災害/極端現象

＜加藤 輝之＞

第 2 章 領域気象・洪水統合モデルを用いた 降雨・洪水計算

＜呉 修一＞

第 2 編 気象データ分析の高度化

第 1 章 データの基礎と可視化・分析

第 1 節 気象データの全体像，入手方法
＜気象庁情報基盤部情報利用推進課＞

第 2 節 気象データと業務データをかけ合わせた
データ分析の実践
＜吉野 純＞

第 2 章 新たな気象予測手法の開発

第 1 節 都市気象予測の現状と課題
ー都市気象予測の発展を目指してー
＜清野 直子，澤田 謙，川端 康弘，瀬古 弘＞

第 2 節 気象のデジタルツイン：微気象シミュレーション
＜中田 亮太＞

第 3 節 高解像度気候計算における
広帯域放射伝達モデルの発展
＜関口 美保＞

第 3 章 気象データデバイスの開発と活用

第 1 節 地上気象ビックデータ取得システムの開発
＜仲吉 信人＞

第 2 節 気象センサーと気象センサークラウドの連携
＜王 玉冬＞

第 3 編 気象データのビジネス利用

第 1 章 農業支援

第 1 節 気象データを活用した
IoP (Internet of Plants) の取り組み
＜仙石 健介＞

第 2 節 衛星データと気象データを活用した農業支援
＜古賀 新一郎，渡部 靖之＞

第 2 章 食品・飲料

第 1 節 気象データを活用した商品需要予測
＜小越 久美，松本 健人，須長 智洋＞

第 2 節 清涼飲料販売数と平均気温に基づいた
需要予測の可能性
＜大江 恵里＞

第 3 章 エネルギー・住宅・防災

第 1 節 電力需要予測・太陽光発電出力予測・電力取引価格予測
＜榎本 佳靖＞

第 2 節 気象予測と AI・IoT による快適・健康・低炭素型住宅
＜片山 秀史，大庭 みゆき＞

第 3 節 災害リスク情報サービス
「DR Info (ディーアール・インフォ)」
＜橘 克憲＞

第 4 章 物流・販売

第 1 節 天気に合わせたファッションレコメンドサービス
＜泉 浩人＞

第 2 節 気象データを用いた物流予測「AI-Buffer-」
＜中川 達生＞

第 5 章 保険・ヘルスケア

第 1 節 気象災害や異常気象等の影響をリスクヘッジする
「天候デリバティブ」
＜伊藤 寛＞

第 2 節 医療ビッグデータと気象データの組み合わせによる
片頭痛の発症予測
＜遠藤 史博＞

第 6 章 エンターテインメント×気象情報による データビジネスの可能性

＜富永 伸介＞

第 4 編 産官学連携による気象ビジネスの展開

第 1 章 気象ビジネス推進コンソーシアム (WXBC) の概要

＜気象庁情報基盤部情報利用推進課＞

第 2 章 WXBC 新規気象ビジネス創出 WG の活動

＜村上 文洋＞

第 3 章 WXBC 人材育成 WG の活動

ー気象ビジネスを先導する人材の育成を目指して
＜田原 春美＞

関連書籍のご案内

No.	図書名	発刊年	頁数	本体価格	CD版※	電子試読
1	リモートセンシングの応用・解析技術 ～農林水産・環境・防災から建築・土木、高精度マッピングまで～	2019	506	58,000円	○	○
2	豪雨のメカニズムと水害対策 ～降水の観測・予測から浸水対策、自然災害に強いまちづくりまで～	2017	434	42,000円	○	○
3	スマート農業 ～自動走行、ロボット技術、ICT・AIの利活用からデータ連携まで～	2019	444	45,000円	○	○
4	人と共生するAI革命 ～活用事例からみる生活・産業・社会の未来展望～	2019	480	48,000円	○	○
5	スマートロジスティクス ～IoTと進化するSCM実行系～	2018	294	32,000円	○	○

※CD 版も同価格